

□第3回鋼構造セミナー「旧式鉄骨造建物の仕口について ―どう評価されたか、どう評価するか?―」

<主催 日本建築学会中国支部, 日本鉄鋼連盟

協賛 日本建築構造技術者協会中国支部、協同組合広島県鉄構工業会>

鋼構造セミナーは、第1回は、「鋼構造接合部の設計を学ぶ ―改定設計指針から―」と題して、平成19年度から毎年開催されている。実務と学会とをむすびつけるため、今回は、旧式の鉄骨体育館を例にとり、改修、補強で問題の多い仕口部について、文献から旧構造形式の実験を紹介し、どう設計的に評価するのか解説し、粗悪な類似の仕口形式設計例を示して、その補強方法を討論する。日常的な設計製作の問題点についても質疑応答を行う。尚、本セミナーは、日本建築学会中国支部構造委員会と日本鉄鋼連盟中国地区サブネット事業委員会が協力して開催する。

会場：広島工業大学広島校舎 501 室（広島市中区中島町 5-7, TEL：082-249-1251）

講師：高松隆夫（広島工業大学）、玉井宏章（広島工業大学）、

坂内英治（SAKA 建築構造）、立石直弘（スウイング）

日時：9月19日（土） 13:30-16:30

定員：80名（定員になり次第受付を終了します。）

対象：本会・協賛団体会員、建築技術者、大学院生、大学生

会費：各回、本会・協賛団体会員 1000円、会員外 3000円、学生 無料

問い合わせ、参加受付先

〒731-5193 広島市佐伯区三宅 2-1-1 広島工業大学工学部建築工学科

玉井宏章

E-mail: tamrix@cc.it-hiroshima.ac.jp

TEL/FAX 082-921-6441